



メールアドレス	kg1@econ.nsu.ac.jp
研究室電話番号	0257-24-8662
研究分野	人文科学系
研究テーマ	東アジアの氏姓・家系図の研究
担当科目	東洋史、東アジア文化交流史、観光資源論、基礎韓国語、ゼミナールⅠ・Ⅱ
略歴	<ul style="list-style-type: none"> ・(中国) 東北師範大学外国語学部日本語学科卒業 ・筑波大学日本語・日本文化学類研究生修了 ・東京大学大学院総合文化研究科比較文学比較文化専攻修士・博士課程修了

講義テーマ1	気軽に学ぶ韓国語の文字
講義概要	「ハングル」と呼ばれる韓国語の文字は1443年に創製され、その仕組みは非常に合理的にできています。母音は東洋の天地人(宇宙万物の基本要素)の思想に基づき、子音は舌・歯・唇・喉・顎の形を模して作られました。学ぶ意欲さえあれば、このユニークな韓国語の文字は短期間にマスターできます。この講義においては、韓国語の母音と子音の成り立ち、母音と子音を使った文字の組み合わせの仕組みについて学び、仮名文字のハングル表を使いながら、受講者の名前、学校の名前、出身地などを韓国語で書けるようにしたいです。
講義に必要な機器	DVD, VTR

講義テーマ2	韓国の大衆文化をもっと知ろう
講義概要	現在、アジアではK-POP、ドラマなど韓国の大衆文化が人気を集めています。その人気によって、「韓流」という新造語も生まれました。この講義においては、アジアにおける大衆文化の発生・伝播のメカニズムを分析し、その上に韓国の大衆文化が発生し、アジアに伝播される過程を分析します。そして、韓国の大衆文化の最新情報も紹介します。この講義の受講を通して、韓国の大衆文化の人気のわけ、その面白さが理解できると信じます。
講義に必要な機器	プロジェクター、スクリーン

講義テーマ3	東洋史のおもしろい話題
講義概要	一見、堅くて、難しそうに思われる東洋史も視点を変えて、トピック(特定の話題)を中心に学ぶとけっこう面白さが湧いてきます。この講義においては、「漢字と東アジア」「朝鮮半島の支石墓(世界遺産)」「古代の朝鮮半島における日本人の活動」「史書『三国志』と小説『三国志』の違い」「東アジアにおける科挙試験」などのトピックから一つを選び、詳細に説明することによって、受講者の東洋史に対する興味を深めるようにします。
講義に必要な機器	プロジェクター、スクリーン